



第3回安芸太田町研修会

「読むこと」について研究授業を行いました。住吉谷指導主事から教えて頂いたことを3点にまとめてみました。

(1) 音声（十分慣れ親しむ）→書くことや読むこと

の流れを大切にすること。黒板の英単語や英文を指でなぞりながら発音させることを行っていると、児童は、文字を手がかりに発話することが当然のこととなってしまう恐れがある。実際、今回の授業でも子供達は、友達とやりとりをするのに、黒板を見ながら話していました。

(2) やり取りする必然性をもたせる

今回の授業では、友達が見たい競技を番組表から読み取り、何曜日のどの時間帯に見ることができるか伝え合う活動でした。しかし、全員に番組表をもたせていたので、お互いに伝える意味が薄くなりました。例えば、「一緒に見ることのできる友達を探してみよう」などと、伝えたい思いをもたせたり、伝える必然性のある場面を設定したりすることが重要であると言われました。

(3) 小中の連携

- ①小学校（新学習指導要領）でどのような学習をして中学校に進学するのか情報共有をすること。
- ②移行期間において、70時間用の計画を50時間で組み直す際、使用する語句や表現、単元構成など、中学校の英語の先生の考えやアイデアを取り入れることも考えられる。